

関東十八檀林のひとつとして知られる名刹



弘経寺 ●ぐきょうじ
 ▲緑に囲まれた荘厳な本堂。境内には与謝無村の句碑も
 ▲0296-33-2039 [MAP→P22B1]
 川家康の実子で結城家の養子となった18代秀康が、早逝した娘の松姫を供養するために建立したと伝えられている。与謝無村が滞在した寺でもあり、襖絵(非公開)が残されている。
 ●結城市結城1591 ●JR結城駅から徒歩15分 ●境内自由 ●80台

伝統の夏祭り知られる由緒ある古社



健田須賀神社 ●たけだすがじんじや
 ▲方位除け、厄除け、健康祈願にご利益があるとか、多くの人々が参拝に訪れる
 ▲0296-32-2956 [MAP→P22C2]
 治3年(1870)に健田神社と須賀神社を合祀した神社で、御祭神はタケヌカワケノミコトとスサノオノミコト。無病息災を願う夏季大祭(結城夏祭り)→P20には毎年多くの人出があり、市内は熱気に包まれる。
 ●結城市結城195 ●JR結城駅から徒歩7分 ●参拝自由(受付は8~17時) ●20台



称名寺 ●しょうみやうじ
 ▲0296-33-3331 [MAP→P22B2]
 親 鷲の高弟である真仏を開基として 結城家初代朝光が創建した寺院。参道に続く京都の二条家から譲り受けた二条門や、親鷲の直筆といわれる「往生要集」の断簡などの文化財を所蔵している。
 ●結城市結城152 ●JR結城駅から徒歩8分 ●境内自由 ●30台
 ▲室町時代に造られた御堂屋門は市の指定文化財

ボランティアガイドさんに聞きました

寺社&見世蔵 まちあるき

中世以来の寺社や江戸時代から続く見世蔵など、街なかにはみどころがたくさん。歴史や伝承を知れば、もっと興味が湧いてくるはず。ガイドさんと一緒に歩いて旅を充実させよう。

孝顕寺 ●こうけんじ
 ▲0296-33-3637 [MAP→P22B2]
 結城家15代政朝によって建立され永正寺と称されていたが、その後現在の地に移転され、18代秀康により孝顕寺と改称された。江戸中期に結城藩主となった水野家の菩提寺でもある。
 ●結城市結城461 ●JR結城駅から徒歩6分 ●境内自由 ●60台
 ▲参道の朱塗りの三門は江戸時代中期に建てられたもの



結城家御廟 ●ゆうきげごびょう
 ▲0296-33-3270 (乗国寺) [MAP→P23C1]
 鎌倉時代、初代朝光が源頼朝から戦いの恩賞として結城の領土を与えられ始まった結城家。その後安土桃山時代まで約400年に渡り統治した、代々当主の霊を祀る。
 ●結城市結城2709 ●JR東結城駅から徒歩15分 ●見学自由 ●10台(松月院利用)
 ▲切妻造りの本堂。秀康は国替えになった福井にも孝顕寺を建立している

趣ある見世蔵があちこちに

奥順見世蔵 おくじゆんみせくら [MAP→P22C2]
 大正初期に建造された町家造の店舗。現在も創業当時と変わらず結城紬問屋の仕入れ場として利用されている。

奥庄店舗 おくしょうてんぽ [MAP→P22C2]
 昭和10年(1935)築。木造2階建てで、1・2階ともにガラス窓、代々続く結城紬問屋の問屋兼住居として利用されている。

鈴木新平商店 すずきしんぺいしやうてん [MAP→P22C2]
 明治16年(1883)築。黒漆喰を塗り込めた土蔵2階建てで、結城を代表する軸間屋として隆盛を極めた。現在は住居として利用されている。

国の登録有形文化財に指定されています
 明治初期から大正初期にかけて店舗兼住居として数多く建築された見世蔵が、現在でも市内各所に残る。

荘厳な三門をへりお参りください

結城氏の歴史を物語る五輪塔が並ぶ

▼初代朝光から16代政勝までの16基と無名の4基を合わせた20基が並ぶ

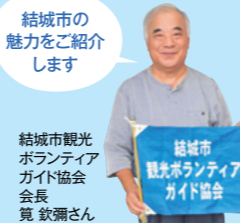


街歩きのポイント

「結城家にまつわる史跡めぐり」「酒や味噌造りの蔵見学」「結城紬などの伝統工芸にふれる」など、テーマを決めて散策するのも楽しい。結城観光物産センター(→P5)で入手できる散策マップも参考にしよう。

結城まち案内人

結城市の魅力を知り尽くしたボランティアガイド。費用は無料で、1名~OK。希望日の20日前までに要申込み。
 ◎問合せ・申込み 結城市観光ボランティアガイド協会(結城市産業振興課 観光係内) ☎0296-32-1111



結城市の魅力をご紹介します



▲鞘の形が餅をつ杖に似ていることから「御手杵の槍」とよばれた



「御手杵の槍って?」
 結城家17代当主の晴朝(はるとも)が、駿河国嶋田の鍛冶師・五条義助に作らせたもので、権威の象徴として戦場の陣所や参勤交代の先頭を示す馬標(うまじるし)として用いられたと伝わる。

▲穂(刃)の長さは1.3m、柄を合わせると4.2m、重さは22.5kgの巨大な槍

女子がときめく人気のゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」にも登場!
 略称は「とうらぶ」。刀剣を擬人化した「刀剣男士」を育成するオンラインブラウザゲームで「御手杵」もキャラクターとして登場する。結城蔵美館の開館1周年記念イベントでは、御手杵の槍との記念撮影を目標に多くのファンが訪れ話題になった。
 ▶御手杵の槍はなんと美男子だった?
 ©2015 DMGゲームズ/Nitroplus

おみやげも買えます!

館内ではストラップやバッグなどのまゆげグッズや、御手杵の槍グッズを販売。見学記念として人気を集めている。



▲結城紬の亀甲柄&まゆげのたみやげに。缶バッジ大250円、小200円
 ▲御手杵の槍の版画500円。ゲームファンからも人気があるとか
 ▲結城観光のちょっぴりたみやげに。缶バッジ大250円、小200円
 ▲御手杵の缶バッジは大300円、小250円

結城の過去と未来の情報を発信する注目スポット

結城蔵美館

2014年5月、見世蔵の街なかオープンした結城蔵美館は、本蔵と袖蔵の2棟からなる情報発信スポット。市の歴史や現代の芸術にふれることができる、結城観光の拠点施設だ。

結城市の歴史や文化の資料展示

「大本営って?」
 日清・日露戦争から太平洋戦争までの間に、日本軍が設置した天皇直属の最高統帥機関。大本営命令は、天皇の命令として発令され、陸海軍の最高司令部としての機能を持っていた。



袖蔵1階では、陸軍特別大演習の大本営が設置された明治40年(1907)11月当時の資料を展示。明治天皇を迎え、約3週間にわたり演習が行われた。

地元作家のギャラリー

本蔵では、市の出身者や市内で活躍する作家の作品を展示。作家ごとに展示期間を設け、年に数回入れ替わる。結城の「今」を感じられる空間だ。

おてぎね 必見! 御手杵の槍

袖蔵2階には、「天下三名槍」のひとつとされる結城家の家宝「御手杵の槍」のレプリカを展示。本物は東京大空襲で消失してしまっただが、槍を鍛えた五条義助のゆかりの地である静岡県島田市で2002年に復元され、翌年結城市に寄贈された。



結城蔵美館
 ●ゆうきくろびかん
 ▲0296-54-5123 [MAP→P22C2]
 ●結城市結城1330
 ●JR結城駅から徒歩10分
 ●入館無料(9時30分~18時(11~3月は9~17時)) ●木曜15台

▲年表や写真、記録集など貴重な資料を見ることが出来る



▼絵画や陶芸など作品の販売も行っている